

# 要請書

奄美大島ねこ対策協議会 御中

公益財団法人どうぶつ基金  
理事長 佐上邦久

Change org 筆頭呼びかけ人  
NPO 法人ゴールゼロ  
ノネコ支局あまみのねこひっこし応援団  
代表 齊藤朋子

1、奄美大島ねこ対策協議会は奄美大島のノラ猫の推定生息数を5000-10000頭、奄美市においては7000頭と発表していますが、実際の生息数は推定生息数よりも大幅に少ないのではないかという疑義が生じています。奄美5市町村各々のノラ猫の推定生息数の根拠となった調査方法および調査結果をご教示ください。

2、協議会は推定生息数5000-10000頭のノラ猫への対策として TNR を実施していますが、手術頭数は年間1000頭程度にすぎません。TNR によりノラ猫の頭数を減らすには、生息数の70%以上に手術を施し、毎年その割合を維持していく必要があります。生息数が推定どおりであれば、年間1000頭程度の TNR によってノラ猫の減少をもたらすのは不可能です。どうぶつ基金が徳之島3町と協働で行った「徳之島ごとさくらねこ TNR」のように奄美5市町村が協働して、1年間で奄美に生息するノラ猫の70%以上を捕獲し「あまみのさくらねこ病院」に運搬して、不妊手術、ワクチン、ノミダニ駆除を無料で受けさせリターンするよう要請します。

本要請に対する回答は平成 30 年 12 月 27 日までをお願いいたします。

以上